

環境学習 みえ

2008
春号 (通巻32号)

テーマ

江戸のちえをいかそう

夜明けにカラスがカアと鳴き、道では「なっと、なっとう」と売り子の声。ごはんのしたくに、火うち石をカチカチと鳴らす音が聞こえてくる江戸の朝です。

江戸の住人、はっつあんとかまさんが起きだしてきました。

さあ、二人といっしょに、環境問題を解決できるようなちえを江戸にさがしにいきましょう。



江戸の子どもの遊び たが回し (輪回し)

特集

江戸のちえをいかそう

がんばっています!! こどもエコクラブ

環境学習情報センターニュース

- ・こどもエコクラブの壁新聞が集まりました
- ・今月の企画展示
- ・講座のご案内

2008年2月発行

発行/三重県環境学習情報センター
四日市市桜町3690-1

くまさんといっしょに

エコな遊びを考えよう

お正月のししまいの笛やたいこの音。
江戸の町はにぎやかです。道では、たこあげ、
こま回し。羽根つき、まりつき。たこには、
けんかだこというのもあって、あいての糸を
切って、落としたり。大人も楽しみました。



たこあげ、はわつき、
こま回し。



江戸のすごろくの中で、
「いたずらすごろく」を発見。
『こつくり、こつくりねむる
人のはなをこちょ、こちょ』
なんていういたずらがマスの
目に書いてあります。



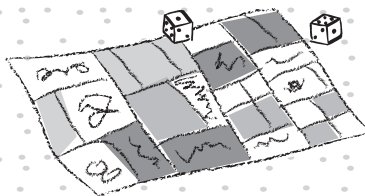
お手玉

石や貝、ほねをほうり上げ
たり、下でよせたりして遊ん
でいたのが、江戸時代にダイ
ズなどを布に包むようになり、
今の形になりました。

すごろく

カルタ

カルタは、もともとは
ポルトガル語のカードの
意味でした。百人一首は
歌カルタともよばれまし
た。歌のほうではなく、
ほうずめくりは、ときどき
しませんでしたか？



江戸の遊びがエコなわけ

「ずいずいずっころばし、ごまみそずい」

江戸の子どもが手遊びをしたり、ままごとをしたり。外を見ると、おにごっこ、おしくらまんじゅう。道具を使ったものは、竹馬、竹とんぼ。こわれたおけについていた、たが（竹でできた輪）を回して競争をしている子もいます。いらぬものを使って遊んだり、自然にかえる材料のおもちゃだったり。だから、地球にやさしいエコな遊びというわけです。

はっつあんといっしょに

エコなおやつを考えよう

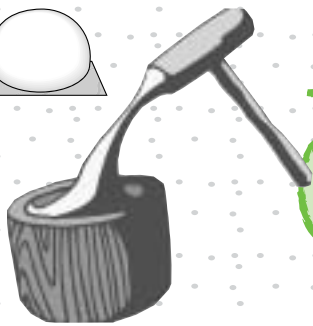
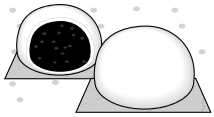
さつまいもは、さつまはん
(今の鹿児島県)で植えはじめた
から、この名前がつけました。

さつまいも



古くから、日本人にがかわりの
ある木の実です。昔話の『さるかに
合せん』では、いろりに入ったり
がポンとはじけ、いじわるなサルは
ヤケドでアッチッチー。

さくらもも



うすときねでついた、
もちにあんを包んだ大福。
冬は焼き大福が流行。

大福

さくらもも

との様の植えた、さくらなみ木。
それを見た男が、その葉っぱを塩
づけにしてみたことで、生まれま
した。

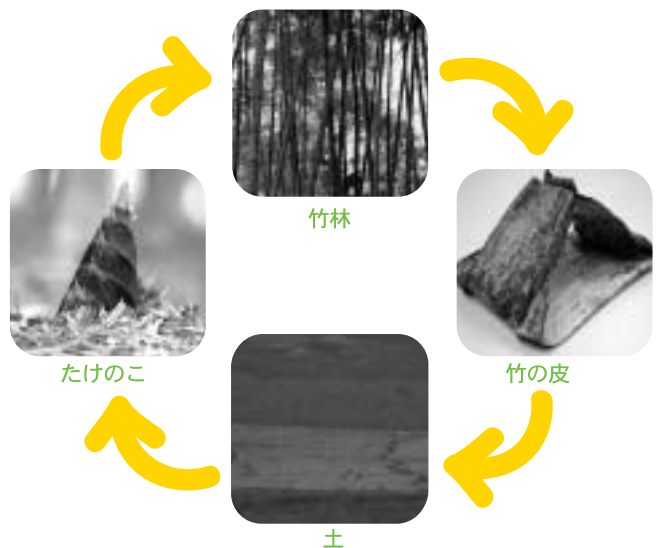
江戸のおやつは手作りおやつ

おやつは、江戸時代の「八どき」(今の午後2時から午後4時)に食べる間食のことでした。江戸時代の中ごろには、これまで、少しの人しか手に入らなかったさとうが広く使われ、まんじゅう、ようかんなどが店で売られるようになりました。あめ売りは、おもしろいかつこうをして、歌ったり、おどったりしながら、道を売り歩いていた。

リサイクル 竹の皮

江戸のまちには、さまざまなものを売る人たちが通りを行きかいました。朝早くには、みそしるに入れるシジミやなっとう。夏になると、「ひゃっこい、ひゃっこい」と冷たい井戸水にさとうを入れた水。ペットとして人気の「きんぎょえ、きんぎょっ」の金魚。家の近くまで売りに来ていたから、むだな包みはいりませんでした。

店で買うときは、まんじゅうや大福から、うなぎまで、竹の皮が大活やく。ラップのかわりです。でも、今のラップとちがって、ちゃんと土にかえります。



エコな休日を楽しもう



春には、セリ、ナズナ、ワラビ。昔から人々は、野山に食べられる草をつみに行きました。平安時代には、川で水のかけあいをしたり、べん当を食べたり、笑ったりする絵がかかれています。もちろん江戸にも、この野遊びは受けつがれました。

しおひがりとは、昔の1年の3月3日（今の4月ごろ）がよいとされ、たくさんの貝を子どもおとなもほり起こしている絵があります。

また、夏の夜はホタルがりで楽しみました。江戸の人々は、四季のうつりかわりを身近に感じていました。たいてい歩いてでかけたので、今より、ずっと少ないエネルギーでおとなも子どもも遊びました。



「江戸砂子子供遊 早稲田 蛍がり」

子どもたちが、竹やうちわで、ホタルを追いかけます。つかまえて、かごの中のホタルの光を楽しみました。 公文教育研究会蔵

江戸の子どもたちの放課後は？

寺子屋での習字のけいこがおわる午後2時ごろ。顔も手足もすみだらけの子どもたち数人が、ふろ屋にやってきます。この後、しばいのまねをして遊ぶことに。

「絵本をあげるから、いれて」「ねずみ役をしろ」「いや」。言い合いをした子どもたちが、なかなかおりるかと思うと、「そっちからあやまれ」。

けんかをする時もあれば、なか良くする時もあり。そんな子どものすがたは、今も昔も変わらないかも。(式亭三馬 浮世風呂より)



「うたひ八番ノ内 紅葉狩り」 公文教育研究会蔵
こんなふうにも、ごっこ遊び。

江戸 エコチェック



きみは江戸のちえが使いこなせているかな？

- い 竹とんぼや竹馬など自然の材料を使った遊びをしたことがある はい いいえ
- ろ おやつで食べているお菓子の包みは、多いと思う はい いいえ
- は 休日はテレビゲームをするより、外で遊んでいる はい いいえ

はんてい

- はい3こ 江戸のちえをよく活用していますね。よくできました。
- はい2こ あともう少しです。今後がんばりましょうね。
- はい1~0こ 江戸のちえはきっと役に立ちますよ。エコな取組をしましょう。

昔と今をつなげよう

93才のおばあさんに聞いてみました

ねえ、おばあちゃん。
おばあちゃんの子どものころ
の話を聞かせてくれへん？



おばあちゃんの子どものころ…もう85年前のはなしやんなあ。
おやつはなあ、そら豆にほしイモにあられ。ほかにあらせんたてな〜。
おいしかったな。
夕ごはんの後、兄弟全員でお父さんに決められた分だけのなわをあまな
あがんだんやけどなあ、そんな時にでるわらのくずをしきいの中に入れて、
わらぶとんにしてお日さんにほすとぶわぶわほがほがで気持ちええんさ。
みんなで取り合いて、ねよったん。あたらかくするの、すずしく
するのなんがしら、ちえつこて生活しよったん。

こんなふう^{まじゅう}に昔のちえを広げています。

各地での取組

いらない油から作ったろうそくで、
すこすキャンドルナイト。残りのぬ
のを使ってのぬのぞうりづくり。エ
ネルギーを多く使すぎずの毎日を考
えたり、いらないかと思つたものを
もう一度使えるように考えたり。全
国各地で、昔のちえをいかした活動
が行われています。



かまへの火入れ

かつて炭は生活の中で大切な役わ
りをはたしていました。今は炭を使
う機会はへっていますが、炭の良さ
をりかいし、竹林の手入れもかねて
竹を切り出し、竹炭を焼くグルー
プが各地で活動しています。

写真の「吉兆^{きちちよう}の会」は、竹炭を焼
いたり自然観察会を開いたりして
いる市民活動グループです。

はっつあん、くまさんの今昔物語

はっつあん 「21世紀っていうのは、てえへんだ。菓子ひとつ買えば、ふくろだの、はこだの、紙だのがい
っぱいで、めんどくさくってしかたがねえや」

くまさん 「包みを全部すてるのには、おいらもおったまげた」

はっつあん 「まんじゅうでも、大福でも、竹の皮ひとつで、じゅうぶんってもんよ。江戸じゃクソまでむだ
にならねえ。買いとって畑のこやしにするくらあ。道に落ちた古くぎだって、子どもが集め
て、あめ玉ととっかえるんだから。その古くぎが寺のかねにでもなるってことよ。なにやら、
それを“じゅんかんがた社会”って言うらしいぜ」

くまさん 「でも、なんだ、江戸とちがって、21世紀は夜も昼のように明る
くて、夜通し遊べるってえのは、楽しそうだなあ」

はっつあん 「べらぼうめ。お天道様^{てんとうさま}とともに起きて、日ぐれにねるのが、道理
ってもんだ。おまんまが食えるのも、自然のめぐみのおかげなの
をわすれちゃいけねえ。人間がむちゃばかりするから、地球がお
だぶつになっちゃうって話じゃねえか」

くまさん 「くわばら、くわばら」





がんばっています!

こどもエコクラブ



～三重県のこどもエコクラブ活動紹介～

おわせっ子 (尾鷲市)

会員数 100人 サポーター数 4人
尾鷲市立尾鷲小学校の4年生のみなさんで構成されています。

☆ いつどのようにできたのですか?

総合学習で、環境のことを学習し始めたことをきっかけにこどもエコクラブに加入して活動をはじめました。

☆ どのような活動をしていますか?

上水道の取水管のある矢の川と校区である中川の水質調査をしました。川にすむ生きもの(生活指標)とCOD(化学的酸素要求量)を調べました。結果は、矢の川はきれいでしたが、中川は生活排水が流れていることもあり少しきたなかったです。調査結果は新聞にまとめ、班でまとめた新聞は学校の壁に貼り、自分でまとめた新聞は家に持って帰り、お家の人に読んでもらいました。

また、中川をきれいにするために、自分たちができることを考え実行しました。水を節約したり、廃油石けんを作って使ったりしました。調査には、市役所の環境課の方2名と地域の自然にくわしい方1名が協力してくださり、廃油石けん作りには地域の婦人会の方が協力してくれました。

☆ どのようなことを子どもたちに伝えたいですか?

この活動を通して、子どもたちはいろんなことを知り、考えることができました。地域の自然を守ろうとがんばっている人がたくさんいること。また、これから地域の自然を守るのは自分たちであることに気づき、できることは少しずつでもやっていこうと考えることができました。

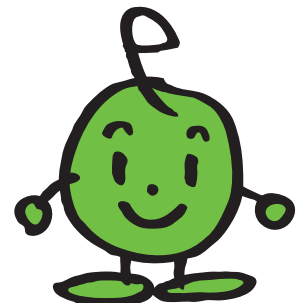


代表サポーターの川上先生にインタビューしました。



こどもエコクラブとは

幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。子どもたちの興味や関心に基づいて、身近な地域の中でできる活動に自由に取り組みます。仲間が集まればどんなグループでも「こどもエコクラブ」として登録して活動を始めることができます。(入会費・登録費は無料です)



こどもエコクラブイメージキャラクター
エコまる

詳細は環境学習情報センターホームページ <http://www.eco.pref.mie.jp/forum/center/center1.htm>

環境学習情報センター ニュース

こどもエコクラブの壁新聞が集まりました

三重県内の12クラブが、一年間の活動を壁新聞にまとめて提出してくれました。

限られた紙面の中に、クラブの活動で学んだこと、楽しかったこと、みんなに呼びかけたいことなどがぎっしり詰まっていた。壁新聞のコピーは三重県環境学習情報センターに展示していますので、ぜひ見に来てください。

また鈴鹿市の「生ゴンクラブ」が、3月29・30日に行われる「こどもエコクラブ全国フェスティバルin北九州」に三重県選抜クラブとして選ばれ出場することになりました。

来年度もより多くのクラブの壁新聞の応募を期待しています！

壁新聞を提出したクラブ

ガールスカウト三重県第9団（桑名市）
イオンチアーズクラブ四日市北店（四日市市）
海蔵しぜんクラブ（四日市市）
イオンチアーズクラブ四日市尾平店（四日市市）
イオンチアーズクラブOBIRA（四日市市）
生ゴンクラブ（鈴鹿市）
ポケモンクラブ（鈴鹿市）
手作り絵本サークル（鈴鹿市）
イオンチアーズクラブ鈴鹿ベルシティ店（鈴鹿市）
ジャスコ鈴鹿ベルシティ店イオンチアーズクラブ「ラッキーベル里山隊」（鈴鹿市）
イオンチアーズクラブ松阪（松阪市）
イオンチアーズクラブ明和店（明和町）



今月の企画展示

12月～2月の展示



12月 シャープ(株)液晶三重工場

地域への環境貢献活動をパネルで紹介しました。シャープ三重工場(多気町)は、地域の自然環境と共生したものづくりを行う工場を目指し、工場の環境負荷低減や地域への環境貢献をするような活動を行っています。

- (1)地域に真に貢献できる活動であること
 - (2)一時的なものではなく、継続して活動すること
 - (3)従業員が体を動かして貢献する活動であること
- 三つの方針で「企業も地域の一員である」の考えのもとに活動中。

パネルでは、地域の道・川・山・海の4つの環境貢献活動などを展示しました。



1月 イオンチアーズクラブ四日市尾平店

月に一回、土、日にジャスコ四日市尾平店の近くで活動中です。バスで県外に行くこともあります。活動を通じ環境に興味を持つことで自然に子どもたちに考える力が育っていきます。

毎年活動のテーマを決め、地域の皆様のサポートも借りながら、楽しく活動しています。2007年度は、省エネクッキング、エネルギー施設見学、自然エネルギーの体験、植樹活動など、エネルギーについて考えてみました。

年度の終わりに1年間の活動を壁新聞にまとめて情報発信しています。地球にやさしい活動をこれからもがんばります。



2月 高松干潟を守ろう会

高松干潟を守ろう会は、平成13年4月、高松海岸にある干潟を次世代につなげる、干潟の大切さを伝える事を目的として発足しました。

海岸清掃・自然観察会・海岸線調査が主な活動で、「ゴミを捨てるのは人、拾うのも人、この悪循環を断ち切る手段を考えよう！」と題し清掃活動をパネル展示しました。

平成19年10月、ゴミ調査を実施し、海岸線の1箇所に5メートル四方の枠を作り、その中の自然に返らないゴミを拾い、漂着が問題になっているレジンベレットで「レジンベレットアート・ウミガメ」を作成しました。



ようこそ三重県環境学習情報センターへ



環境学習情報センターに来館してくれた小学校（12月～2月）

鈴鹿市立天名小学校 4年生 伊賀市立上野西小学校 5年生

三重県環境学習情報センターでは社会見学・環境学習体験教室の受入を行っています。

■三重県環境学習情報センターの環境講座（随時受付）

社会見学などでの環境講座のほか、学校の授業や公民館、企業、市民団体の学習会などへの出前講座も実施しています。講座内容については、相談させていただきます。お気軽にご連絡ください。

講座の例	内 容	対 象
水質チェック教室	パックテストで水のCODを調べます。	小学校中学年以上
大気調査教室	簡易測定カプセルで採集した二酸化窒素の量を測定します。	小学校高学年以上
森林教室	森林の役割について考えます。	小学校中学年以上
自然体験教室	自然観察、バードウォッチング、水生生物調査など。	小学校中学年以上
エコ・クッキング	省資源、省エネルギーなどを考えたクッキング	小学校中学年以上
ごみ・リサイクル講座	家庭のできるごみゼロ、3Rの実践。	小学生以上
買い物ゲーム	模擬的な買い物を通じて、ごみを減らす方法を考えます。	小学校中学年以上
環境にやさしい消費者講座	グリーン購入を通じた環境への取組を考えます。	小学校高学年以上
エコソング 「うたおう&おどろう」	地球温暖化防止やリサイクルについて歌と踊りで学びます。	幼児・小学1年生
省エネルギー講座	地球温暖化防止と資源枯渇の問題から、省エネルギーの実践を考えます。	一 般
わくわく省エネルギー教室	人力自転車発電を体験して省エネについて考えます。 (環境学習サークルみえと協働)	小学生以上

※原則として、希望日の1ヶ月前までに、ご連絡ください。※出前講座については、使用する消耗品のご準備をお願いしています。

平成20年度より三重県環境学習情報センターを指定管理者が運営します

運営団体 : アクティオ株式会社
 本社所在地 : 東京都目黒区上目黒3丁目2番3号 リそな中目黒ビル6階
 URL : <http://www.actio.co.jp/>

引き続き当センターをご利用いただきますようお願い申し上げます。
 変更点については4月以降ホームページなどでご案内いたします。

4月以降の各種講座については、ホームページなどでご案内いたします。

※貸室等、条例改正に伴い一部有料化されるものがあります。

お申し込み・お問い合わせ

三重県環境学習情報センター

〒512-1211 三重県四日市市桜町3690-1 (鈴鹿山麓リサーチパーク内)

TEL/059 (329) 2000 FAX/059 (329) 2909

電子メール eco@pref.mie.jp (4月以降、変更の予定です)

ホームページ <http://www.eco.pref.mie.jp/> (4月以降、変更の予定です)

開館時間 午前9時～午後5時30分

開館日 年末年始(12/29～1/3)以外は無休
 土曜日、日曜日、祝日もオープン

入館料 無料

近鉄四日市駅から三重交通バス
 (桜リサーチパーク行き)で35分
 近鉄菟野駅から車で10分
 東名阪四日市I.C.
 鈴鹿I.Cから車で15分

